

東日本大震災 関連情報

多くの市民・企業・団体の皆さんから、4月5日(火)現在、1061万5492円の義援金が寄せられています(市社会福祉協議会調べ)。このほかに、市では3月の市議会の議決を経て義援金600万円を、市議会では全国市議会議長会を通じて義援金20万円を送りました。市内団体などを通して提供いただいた物資は、4月13日(水)までに被災地へ搬送しています。これまでもご支援に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援ご協力をよろしくお願ひします。市内11カ所の施設では引き続き義援金を受け付けています。

設置施設

- ・市役所 ・厚田支所
- ・浜益支所 ・りんくる
- ・市民図書館 ・花川北コミセン
- ・花川南コミセン ・八幡コミセン
- ・市民プール ・B&G海洋センター
- ・サン・ビレッジいしかり



名取市図書館で支援活動を行う本市教育委員会の職員。



3月30日(水)、市役所ロビーでチャリティーコンサートを行った南線小学校リコーダークラブの皆さん。

被災地への職員派遣

○石狩北部地区消防事務組合

3月12日(土)～4月15日(金)に3回にわたり、北海道の緊急消防援助隊の隊員として16人を宮城県石巻市へ派遣。

○石狩市

3月31日(木)～4月7日(木)に2回にわたり、北海道下水道災害復旧支援チームとして4人を岩手県宮城県へ派遣。

○石狩市教育委員会

4月11日(月)～5月1日(日)まで2回にわたり、避難所の子どもと図書館への支援のため、宮城県名取市へ8人を派遣。

被災避難者への支援

○避難生活応援資金

石狩市に避難して来られた方へ1人1万円を支給。

○福祉総務課 ☎72・3127

○市営住宅

公募を当分の間中止し、被災者へ提供。

○建築課 ☎72・3144

○市税

被災地の納税者に対し、申告・納付などの期限を延長。

■(申告・申請など) 税務課 ☎72・3119

■(納付・納入など) 納税課 ☎72・3118

義援金詐欺にご注意を!

東日本大震災に関連した詐欺の相談が、国民生活センターや全国の消費生活センターに寄せられています。また、震災被害の復興支援義援金に便乗した詐欺の情報が多数寄せられています。

皆さんの善意を逆手にとる義援金詐欺は過去の震災時にもみられ、義援金詐欺のほかに融資保証金詐欺などが発生しました。はがきやメールによる義援金の振り込み依頼や公的機関を装った電話、販売金額の二部を震災の義援金にするといった内容で商品の購入を勧める電話、訪問販売には注意が必要で、不審な電話やメール、はがきが届いた場合は安易に信用せず、家族や警察、消費生活相談窓口へご相談ください。

●石狩市消費生活相談窓口

☎75・2282

毎週月・水・金曜 10時～15時

■市役所1階ロビー

●石狩消費者協会相談窓口

☎72・2432

毎週火曜 10時～15時

■石狩商工会館

(花川北6-1)



海辺の風景再発見フォーラム

いのちあふれる石狩湾 ～海と海辺、魅力とこれからの語る～

私たちにとって最も身近な海辺。当たり前のように見てきたこの風景は、今や全国的にも貴重な存在となっています。一方、過度なレジャー利用やごみの投棄・漂着、波による侵食等により危機的状況にあり、皆が向き合わなければならない問題です。本フォーラムでは、身近な海に暮らす生き物、海辺の自然を紹介し、魅力を再発見するとともに、将来にわたり残していくためにはどうすべきか、石狩浜のこれからの語ります。

日時 5月29日(日) 13:30開場/14:00開演 ※17:00終了予定

場所 かでる2・7 4階大会議室(札幌市中央区北2西7 道民活動センター)

定員 150人 ※要申込 **費用** 無料 **申込方法** 電話またはメールで申し込み

主催・申込・問合せ 石狩浜海浜植物保護センター ☎60-6107(休館日は☎72-3240)

✉ ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

プログラム

基調講演

「石狩湾、海の中の世界
～海の生きものたちの映像講座～」
ダイビングショップゼムハウス代表 藤田 尚夫氏

パネルディスカッション

「魅力とこれからの語る」

●パネラー

いしかり砂丘の風資料館学芸員 志賀 健司

NPO法人ねおす理事長

ぶなの森自然体験学校運営委員長 高木 晴光氏

北海道大学大学院農学研究院助教 松島 肇氏

●コーディネーター

作家 横松 心平氏

出演者紹介(敬称略)

藤田 尚夫 積丹町でダイビング指導員養成とポートによる海のエコツアーを開催。海の生きものたちと人のかかわりをテーマとした映像講座とクルージングを通して、プロジェクトAWARE(海の世界教育)とアースデイを実施する。

高木 晴光 北海道自然体験学校NEOSでエコツアー、青少年野外活動など各種自然体験型環境プログラムの提供のほか地域や人づくり、コミュニケーショントレーニングなどのワークショップも行う。

松島 肇 景観生態学および社会科学的アプローチから、石狩海岸を対象に身近な自然地の環境保全と適正利用の管理をテーマに研究を行う。

横松 心平 著書『札幌はなぜ、日本人が住みたい街No.1なのか』(柏艸舎)、『続・札幌はなぜ、日本人が住みたい街No.1なのか—札幌夢追い10人衆』(柏艸舎)、連載は、『小説 羅什』(『佼成』佼成出版)、ルポ『北海道 化石の人』(北海道新聞)、エッセー『振り返れば父がいる』(『立松和平小説』勉誠出版)。

志賀 健司 地質学、漂着物学を中心に調査研究を進め、研究テーマは暖流系漂着物(特にアオイガイ)と海洋環境・気候変動との関係、北部石狩低地帯の古環境変遷。年3回、野外講座「石狩ビーチコマーズ」を開催。

○自然観察会「海辺の風景再発見の旅」

石狩海岸をバスでめぐり、地形や成り立ち、動植物など自然に触れながら学び、魅力を再発見します。

日程 6月25日(土) 定員 40人(先着順) 申込締切 6月19日(日)

○自然環境調査体験「海辺の草原生き物調査隊」

海浜植物群落に暮らす小型ほ乳類や昆虫類の生息状況を調査し、石狩海岸の自然の豊かさ、命のつながりを発見します。

日程 7月31日(日) 定員 30人(先着順) 申込締切 7月24日(日)

○共通事項

対象 小学4年生以上 持ち物 昼食、帽子、雨具、筆記用具、動きやすい服装

集合 9:00札幌駅北口バスターミナル(解散16:00)、または9:30市役所駐車場(解散15:30)

費用 300円(中学生以下は100円)

海辺の風景写真パネル展

日程

①5月7日(土)～12日(木)

②5月17日(火)～30日(月)

場所

①花川北コミセン

②札幌エルプラザ2階 交流広場
(札幌市北区北8西3)